



▼本町産の野菜や果物などを買い求める人が集まり盛況だった観光物産展



## 本町の観光地と物産をPR

第3回甲佐町観光物産展を熊本市で開催

5月29日(土) 熊本市の熊本交通センターで、第3回甲佐町観光物産展が開催されました。

同展は、甲佐町商工会(中村幸男会長)が主催、甲佐町観光協会とJAかみましが協賛、町が後援して開催。本町の自然豊かな観光資源と本町産の物産などを広くPRし、地域の活性化と産業の振興を図るために、平成20年度から毎年実施されています。

会場には、とれたての新鮮なスイートコーンやニラなど野菜や果物、生花や花苗のほか、はちみつ、あらねなどの食品や、アユの塩焼きや生マシユマロ、ニラのメンチカツ、饅頭などの特産品が並び、とともに、木工製品や木炭、観光案内、特産品開発PRなどのブースも設置。多くの通行客が観光名所の展示物を眺めたり、特産品を買い求めたりしました。

また、商工会女性部による手作り廃油せっけんや本町産のニラのプレゼントも実施。同青年部によるもちつきでのもちの配布なども行われ、イベントは多くの人で賑わい盛況でした。

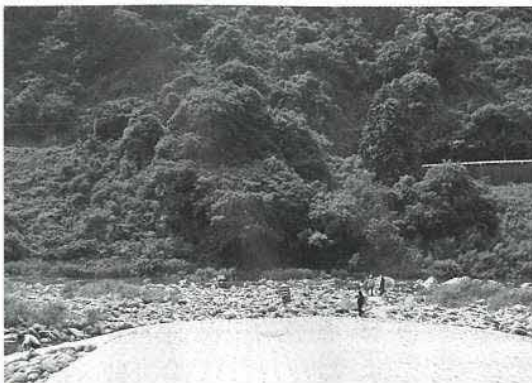
## 結婚活動を応援します

結婚活動応援事業「ふれあい交流会」

6月6日(日) 甲佐町産業後継者育成対策協議会(宮本修治会長)主催で、結婚活動応援事業「ふれあい交流会」が開催されました。

今回の交流会には、男性7人、女性8人が参加。豊内のやな場でアユ料理を味わいながら歓談し、井戸江峡キャンプ場では散策しながら交流して、2組のカップルが誕生。また今回から男性参加者が計画した2次会も開催され、女性参加者も全員出席して盛り上がりました。

次回は8月1日(日)。お申し込み方法などは、21ページ掲載のお知らせをご覧ください。



▲緑川の河原で、ペアに分かれて散策を楽しむ参加者



◀関係機関や団体が出席し、防災について協議

## 本町での防災について協議

平成22年度町防災会議および水防協議会

6月2日(水) 町生涯学習センターで、平成22年度町防災会議および水防協議会が開催されました。

同会議は、国や県、警察、消防、各種公共機関や団体などの関係者を集めて開催。災害時などでの各関係機関の業務や役割分担、災害対策本部の組織体制と事務内容などについて協議しました。

主な協議事項として、「災害予防計画」における災害危険区域に関する項目の見直しや、地域で結成し防災活動に取り組む「自主防災組織」の育成の強化などについて検討。

また、高齢者や障がい者など社会的弱者である「災害時要援護者」に対する避難の支援に関して、各関係機関での役割分担などについても話し合いました。

## ハーブの調べを堪能

甲佐町文化協会主催コンサート

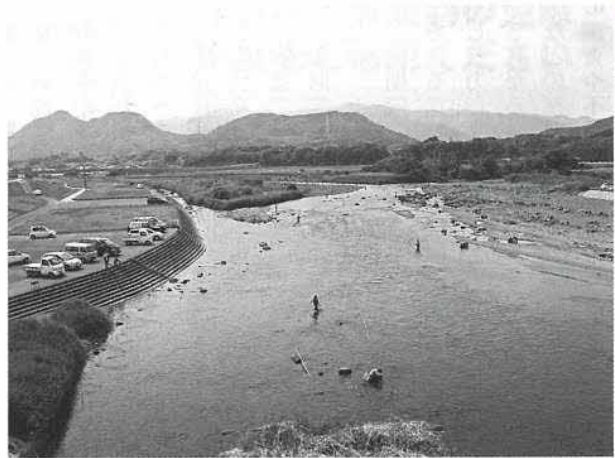
6月10日(木)町生涯学習センターで、永山友美子ハーブコンサートが開催されました。

生の芸術や文化に触れ合う機会を設けることを目的に、甲佐町文化協会(中嶋敬介会長)が主催。約150人が来場し、ハーブ奏者の永山友美子さんを迎えて、ハーブの演奏を楽しむとともに、永山さんのユーモアあふれるおしゃべりを聞きました。

コンサートを終えて、60歳代女性は「ハーブの音色を、間近で初めて聞きました。とてもきれいな音で感動しました」と感想を述べました。



▲詩の朗読に合わせてハーブの演奏を披露する永山さん



▲アユ釣りファンが集結した緑川

## 長竿が揺れる初夏の緑川

6月1日(火) 緑川でアユ釣り解禁

6月1日(火) 緑川流域では、アユ釣りが解禁されました。解禁初日とあって、多くのアユ釣りファンたちが早朝から緑川に押し寄せ、中甲橋付近などにはアユ釣りの独特の長竿を手にした人たちが川の流れの中で獲物を狙い、緑川には釣り人たちが賑わう初夏の風景が到来しました。

緑川は、川の濁りが強く水温も低めで水量も少なかったためか、釣果はやや少なめだった様子。それでもファンたちは釣りをできる喜びを満喫して、アユの縄張りを守る習性を利用した友釣りを楽しみました。

熊本市から訪れた40歳代男性は「待ちに待った解禁日でしたが、釣果は今一つでした。またやって来たいと思います」と話しました。

## 伸びよう伸ばそう青少年

平成21年度甲佐町青少年健全育成町民会議総会



▲総会後に開催された研修では、タレントとして活躍する娘・スザンヌさんを育てたキャサリン(藤本清美)さんの子育てに関する講演会を開催

6月8日(火)町生涯学習センターで、平成22年度第26回甲佐町青少年健全育成町民会議総会が開催されました。

同会議(奥名克美会長)は、本町の未来を担う青少年の健全育成を目的に、昭和60年に発足。各種団体の代表などが参加し、指導部会、育成部会、啓発環境部会の3部会で構成され、青少年健全育成活動に取り組んでいます。

総会では、奥名会長が「少年たちを取り巻く事件や事故は、社会の大きな課題です。大人が知恵を出し合って、若年化する少年犯罪などを防ぐ活動に尽力しましょう」とあいさつ。

今年度の活動として、教育パトロールやあいさつ運動、子ども会対抗球技大会、ナイトハイクなどを実施することを決定しました。

総会後には研修として、テレビなどに出演中の県出身タレントのスザンヌさんの母として活躍中のキャサリン(藤本清美)さんを講師に迎えて、「おバカでも明るいう育て方」と題して、子育てに関する講演会を開催しました。